

孟子不動谷の里山自然を活かした地域活性化の取り組み

NPO法人自然回復を試みる会・ビオトープ孟子

理事 ○有本 智 会員 山本 昌寛

活動方針・目的

私たち（特）自然回復を試みる会・ビオトープ孟子は、1998年2月、海南市孟子荒糸（通称：不動谷）の一角に水辺ビオトープを掘削し、そこに集まる水生昆虫を地元の小中学生とともに観察することから始めた里山保全を目的とするNPO法人です。2002年2月、NPO法人として登記し、孟子不動谷の豊かな里山自然を活かした地域活性化を活動方針として事業展開をしています。

1. 活動内容

- ◎孟子不動谷の里山保全活動
 - 動植物モニタリング調査
 - 無農薬稲作・畑作
 - 炭焼き
- ◎環境学習の拠点としての活動
 - 人材登録（和歌山県環境教育アドバイザー）
- ◎モニタリング、史跡
 - 研究「北野上・山東地誌」編纂（和歌山県海草振興局）
- ◎高齢者の生きがいづくり
- ◎日本ユネスコ未来遺産登録
 - 「孟子不動谷生物多様性活性化プロジェクト」が採択（平成21年12月）

2. 他の活動団体の参考となる事例

- (1) 間伐材を活用したトンボ池（水辺ビオトープ）の補強国土緑化推進機構助成金
- (2) 紀の国森づくり基金の積極的活用 里山資料館改築&大旗山里道改修
- (3) 指定管理者制度の活用 海南市わんぱく公園

今後の課題等

前述のように2009年度の日本ユネスコ「未来遺産」への登録が決定しました。そこで行う2年間の「生物多様性活性化プロジェクト」は地元の中学生と協働により行うことに決定しています。

しかし、「100年後の子どもたちに孟子の里山を残す」をコンセプトとする未来遺産の登録は未来永劫継続します。このことにより、孟子不動谷の無農薬稲作、畑作、炭焼きの継続の仕組みづくりとより強固なコミュニティの構築を求められるようになりました。

今後海南市および和歌山県との連携を密にしながら、孟子の里山保全活動の次世代の担い手の組織を構築するとともに、里親企業の発掘にむけての課題が山積しています。

孟子不動谷の里山自然を活かした地域活性化の取り組み



特定非営利活動法人
自然回復を試みる会・ビオトープ孟子

自然回復を試みる会・ビオトープ孟子

〈設立年〉 平成10年2月1日

〈活動拠点〉 和歌山県海南市孟子(もうこ)荒糸
(通称:不動谷)6.8ha

〈代表〉 理事長:北原敏秀

連絡先:海南市高津1082

電話 073-488-0712

URL <http://mo-ko.jp/>

〈活動方針・目的〉

海南市孟子不動谷の里山保全活動からの地域活性化

(1) 海南市孟子不動谷の豊かな里山保全活動

- ・無農薬稲作・ソバ作り(販売活動・ソバ打ち体験等)
- ・菊炭(クヌギ)焼き(販売活動)



無農薬稲作



無農薬そば畑



孟子菊炭窯

活動内容

・動植物モニタリング調査

設立当初よりの動植物調査の結果、哺乳類17種、鳥類130種
両生爬虫類20種、昆虫類800種、高等植物類500種が確認
和歌山県レッドデータブック記載の種が多数発見される。



フクロウ(和歌山県絶滅危惧Ⅱ類)



ニホンアカエル(和歌山県絶滅危惧Ⅱ類)



ニホンカワトンボ(和歌山県学術的重要)



タムラソウ(和歌山県準絶滅危惧)



エビネ(和歌山県絶滅危惧ⅠB類)

・環境学習の拠点

- ・小中学生の自然体験の受け入れ
- ・和歌山県職員の研修の受け入れ
- ・理事3名が和歌山県環境学習アドバイザー登録

・史跡研究

- ・不動谷南尾根上の大旗山篠ヶ城や、弘法大師空海が刻んだ不動明王を御神体とする孟子不動那賀寺等の史跡研究。平成20年には和歌山県海草振興局助成により「北野上・山東地誌」を編纂

・高齢者の生きがいづくり

- 団塊の世代を中心とした高齢者の里山管理のノウハウを活かした活動



エコツアーの実施



田植え体験



こがねぐも相撲大会

・平成21年12月1日

(社)日本ユネスコ協会主催「未来遺産プロジェクト」に選定(全国で10ヶ所)

孟子不動谷生物多様性活性化プログラム(平成22.23年)

(1)フクロウ・キビタキの巣箱架設による繁殖モニタリング調査



キビタキ(ひたき科)



フクロウ(ふくろう科)

(2)孟子無農薬水田から始める田んぼの生きもの調査と調査マニュアル作成



孟子無農薬水田



シュレーゲル
アマガエル



オグマサナエ

参考事例

★間伐材を活用したとんぼ池の補強(国土緑化推進機構)



とんぼ池

サワガニ・イノシシに破壊されたとんぼ池(1ha)を平成20・21年2年がかりで間伐材を活用して補強

和歌山県絶滅危惧Ⅱ類・ニホンアカガエルの産卵環境としてのとんぼ池の機能を間伐材活用にて回復

★紀の国森づくり基金(和歌山県)の積極活用

孟子不動谷の「里山公園」化を目指す！

平成20年 孟子不動資料館「山案山子」の改裝作業

平成21年 大旗山ハイキング道の整備・改修

指定管理制度の積極的活用



海南市わんぱく公園の運営管理を開始

・(株)丸山組と管理運営コンソーシアム

・平成21年度から5ヶ年契約

活動の殆どがボランティアによるところの大きい資金規模の脆弱な里山管理の担保性を確保

公園のコンセプト「集まれ！みんなの裏山へ。」が、法人の方針に合致